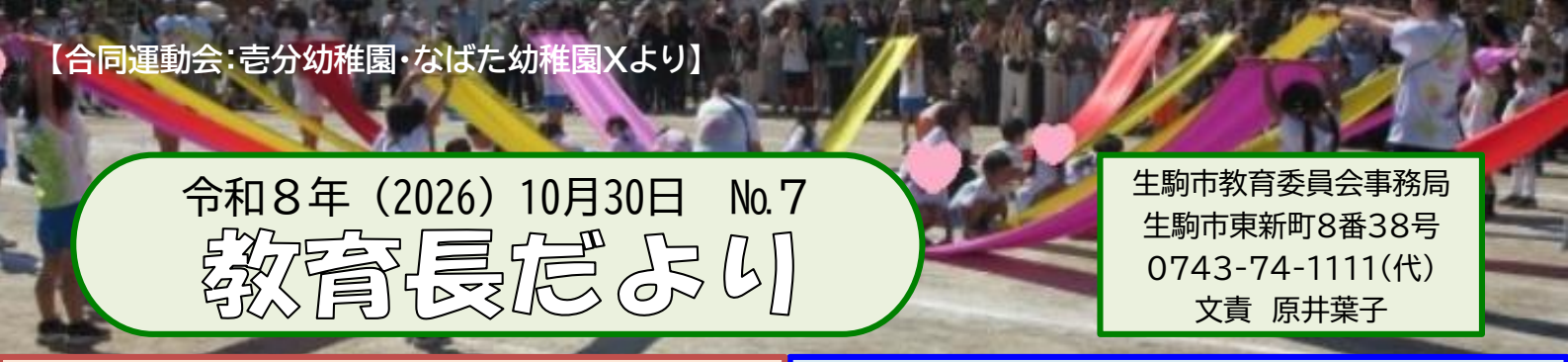


令和８年（2026）10月30日　No.７

教育長だより

生駒市教育委員会事務局
生駒市東新町8番38号
0743-74-1111(代)
文責　原井葉子

市PTAと意見交換会を開催

10月3日に、生駒市PTA協議会と生駒市・市教育委員会との意見交換会を行いました。当日は、多くの方に参加いただき、幼稚園・小学校・中学校に分かれて、それぞれ3つのテーマについて、様々な課題や市・教育委員会への質問、要望、ご意見をいただきました。

○　幼稚園部会

・公立幼稚園・こども園の今後のあり方
・園児の送迎負担の軽減
・子どもが安心して遊べる屋内・公共施設の充実

○　小学校部会

・児童登下校時を含む熱中症対策の強化
・タブレット端末の運用・ルールの見直し
・学校施設の老朽化対策と維持管理の充実

○　中学校部会

・高校受験・進路選択における生徒への支援の充実
・学校・家庭でのタブレット。スマートフォンの適正利用
・部活動の地域移行と教員生徒双方への支援

私が参加した小学校・中学校部会では、タブレット端末の家庭での利用について、子どもの実態を踏まえて使用できる時間やアプリに制限をかけて欲しいという意見、要望が出ました。早速市教委でYouTubeの使用時間の制限をかけ、お伝えしたところです。今後も学校と連携しながら使い方について検討を続けてまいります。

意見交換会の内容全般を、校長会・教頭会でも伝達しています。ぜひ、各学校のPTAでも話題にしていただき、家庭・学校・教育委員会がそれぞれの立場で子どもたちのために何ができるのかを共に考えていきましょう！

「学びの多様化学校」の体験会

10月22・23日に中学校、27・28日に小学校の体験会を開催しました。最初は参加者もスタッフも緊張していましたが、少しずつ打ち解けて笑顔や笑い声が広がるようになりました。探究ワーク「あったらいいな！こんな学校」では自由なアイデアややりたいことがたくさん出されて、「みんなでつくる私たちの学び場」を創る第一歩となりました。4月の開校に向けて、子どもたちの思いや願い取り入れながら学校づくりを進めていきます。

「サプライティーチャー」の実証を開始

今月1日より、奈良県教育委員会と連携し、全国初となる「サプライティーチャー制度」の実証事業をスタートしました。

これまで学校現場では、教員が研修や出張、あるいは急な体調不良などで短期間お休みする場合、ほかの教員が代わりに入って授業を行っていました。そのため「周りの先生に迷惑をかけてしまうのでは」と気兼ねしてしまい、休暇を取りづらいと感じるケースもありました。

本制度は、あらかじめ確保した専任の先生を学校へ派遣し、授業を代わりに行う仕組みです。今回の実証では市内5つの小学校を対象に1名の先生を配置し、事前予約制で授業をしっかりサポートします。

派遣ニーズや負担軽減の効果、現場での運用の工夫などを詳しく検証しながら、先生たちが無理なく安心して休むことができ、子どもたちと笑顔で向き合える職場環境づくりを進めていきたいと考えています。

☞ https://www.city.ikoma.lg.jp/0000042893.html

生駒市の保育施設で働いてみませんか？

生駒市では、子どもたちの笑顔と成長を温かく見守ってくださる保育士・スタッフを募集しています。ブランクのある方や未経験の方、ワークライフバランスを大切にしたい方も大歓迎！緑豊かな自然と温かい地域社会に囲まれた環境で、あなたの経験や優しさを、生駒の未来を担う子どもたちのために活かしてみませんか？まずはお気軽にお問い合わせ・ご相談ください。

https://www.city.ikoma.lg.jp/cmsfiles/contents/0000042/42515/chirashi.pdf

↓市と奈教大共催の研修会です。ぜひご参加ください。

